

弱法師

松山 隆雄
工藤 和哉
安福 光雄
曾和 正博
一噌 幸弘

伊文字

野村 万蔵
野村万之丞
能村 晶人
河野 佑紀

籠太鼓

梅若長左衛門

殿田 謙吉
柿原 崇志
鶴澤洋太郎
栗林 祐輔

碇蝉班

仕舞

後見 川口 晃平
赤瀬 雅則
梅若 鷹尾 維教
井上 和幸
紀彰

後見 梅津千代司
川口 直隆
鷹尾 山崎 梅若
章弘 鷹尾 正徳
維教

野守

山中 遼晶
黒頭

《休憩十五分予定》

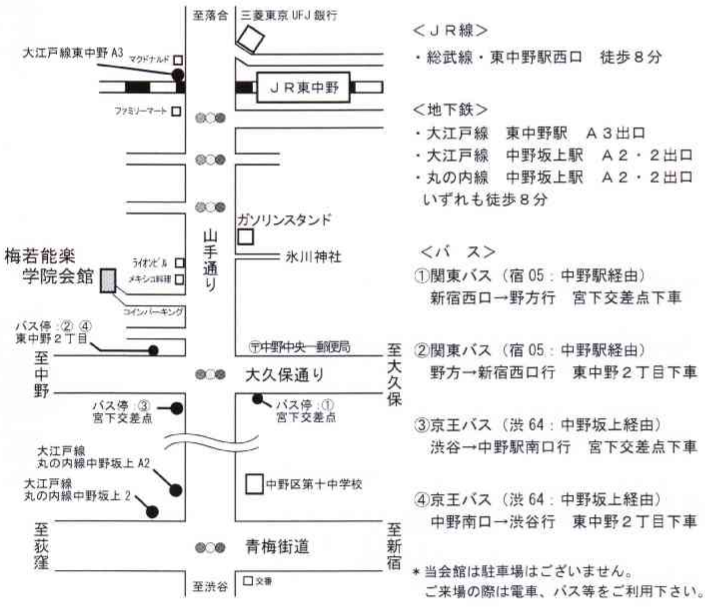
舘田 善博
原岡 一之
鳥山 直也
林 雄一郎
小野寺竜一

後見 松山 隆之
角当 直隆
地謡 小田切亮磨
河本 幸雄
内藤 英貴
赤瀬 会田 梅若 井上 紀彦
雅昇 則彰

『弱法師』高安通俊は以前、我が子俊徳丸を勘当した事を後悔し、俊徳の為に天王寺で七日間の施行をしている。彼岸の中日に弱法師と呼ばれる盲目の乞食少年が現れ、施しを受けながらも少年は梅の香りに心を通わせ仏の徳を説き天王寺の縁起を語る。これを見た通俊はこの少年が勘当した俊徳と気付くが、人目を気にして夜を待つ。通俊は少年に日没を見て浄土を歎想する日観想を薦めると、少年は盲目ながら景色を心眼に映すが群衆にぶつかり笑われる。そして日が暮れると通俊は自分が父親である事を明かし、驚く俊徳を連れて里に帰る。

『籠太鼓』九州松浦の開清次は喧嘩の末、殺人を犯し捕らえらるるが脱獄する。松浦の領主は清次の妻を身代わりに投獄し、夫の居所を詰問するが妻は知らない、知っていても明かさないと答える。領主は妻に許しをたすが、この牢は夫の形見だと話し、牢に残ると牢番の時を打つ鼓の音に妻は狂乱する。領主は妻の有様に同情し夫婦共に許しをたすと、妻は正直に夫の居所を明かす。清次の居所を聞いた領主がこれ以上は追及せず全てを許し、妻は夫と末永く添いとげられた。

『野守』羽黒山の山伏が葛城山に参る途中、春日野の池のほとりで野守の老人と出会う。この池は野守の鏡と呼ばれているが本当の野守の鏡は鬼神の持つ鏡のことだと老人は語る。そして鬼神の持つ本当の野守の鏡が見たいと言おう山伏に、老人は池の水鏡を見なさいと言いい残し姿を消す。夜になり山伏が野守の鏡を見せてもらえるよう祈願すると、銀色の鏡を手にした鬼神が現れ、手にした鏡に東西南北・四方八方、さらに天上・地下、地獄道をも映し出す。



〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)
TEL : 03-3363-7748 FAX : 03-3363-7749

【観能チケットについて】

- 1. 自由席 7,000円 指定席 8,000円 学生席 3,000円
- 2. 賛助会員券(定式能)および自由席をお持ちの方は1,000円プラスで正面のご希望のお席を確保いたします。公演1週間前までにお電話にてご予約下さい。準賛助会員券(梅流会)をお持ちの方は1,000円プラスで自由席にてご観能可能です。
- 3. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749) なお梅若会ブログにも受け付けております。(パソコン: http://umewakanoh.exblog.jp/ 携帯: http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/) 詳しくはお電話にてお問い合わせ頂くか梅若会ブログをご覧ください。
- 4. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。*ロビーにて軽食、コーヒー、ケーキ等の販売がございます。皆様ご利用下さい。

